

# 通訳案内士試験

・「英語一次・二次」・

## 直前対策



MP3  
CD付き

植田一三 アクエアリーズ学長【編著】

上田敏子 アクエアリーズ講師 + 小室葉子 アクエアリーズ講師【著】


**【装丁】** 山田英春

**【録音】** 英語教育協議会 (ELEC) 録音事業部

**【ナレーション】** Chris Koprowski / Edith Kayumi / 平良綾野

**【付属の MP3 CD について】**

付属のディスクは、MP3 形式の音声データを収録した CD-ROM です。  
コンピュータと光学式ドライブを使ったデータコピー、再生が可能です。  
付属のディスクは音楽用 CD プレイヤーで再生しないでください。

- \* 収録箇所は「第 6 章 二次面接試験攻略法&トレーニング」で、 マークを表示。
- \* 「日英通訳力 UP トレーニング」のみ日本語→英語の順で、他は英語のみ収録。

通訳案内士試験の2015年度の総受験者数は前年度より50%以上増加して10,975人で、そのうち英語が8,491人の77%を占めています。合格者も前年度より28%増加の1,822人となりました。合格率は、英語では一次試験が邦文試験と両方で28%ですが、英文試験免除を使う受験者が4割近くで、再受験者、一次試験免除者457名を考慮すると、免除を用いない人の一次試験合格率は約2割となります。二次試験は、一次試験免除者数を考慮すると、合格率が約6割となっています。最終合格率は21.5%で、全体的に難易度が上がっています。英語試験はすべてが記号選択式問題となり、合格ラインは正解率が70%以上で、合格の目安は、日本事象や地理に詳しい人は英検準1級レベルの人でも合格できるかもしれませんが、そうでない人は英検1級に不合格Aレベルの人でもパスしない可能性があります。こういった状況の中で、1人でも多くの人がこの通訳案内士試験に合格できるように本書は作成されました。

本書の構成は、1～5章までが一次試験対策、6章が二次試験対策となっています。**1～3章**は、それぞれ「**英文読解総合問題**」、「**英文整序問題**」、「**英文和訳問題**」の攻略法&トレーニングで、日本文化に関する難易度の高い英文パッセージを用い、勉強効率を高めています。**4章**は「**和文英訳問題**」の攻略法&トレーニングで、場面別の「**案内業務の英語表現**」の問題と音読用の**例文集**を用意し、合格と同時にプロの通訳案内士に必要なスキルを身につけることができます。**5章**は「**日本事象・写真マッチング問題**」の攻略法&トレーニングで、二次面接でも使える日本事象や名所説明問題を用意しました。**6章**の「**二次面接試験**」攻略法&トレーニングは、**観光地理**、**宗教・歴史**、**文化**の分野で重要なトピックに関して、音声付きの**シミュレーションテスト**を通して、**通訳・プレゼン・Q&Aのスキルアップ**を可能にします。さらに、**最短距離でプレゼン対策ができるための「ひな形**」、**試験で役立つ分野別語彙集**、**二次試験体験談コラム**も織り込んだ充実した内容になっています。

本書の制作にあたり、多大な努力をしてくれたアクエアリーズスタッフの上田敏子氏（全体構成企画・2章・5章担当・6章協力）、小室葉子氏（1章・6章担当、全章校正）、田中秀樹氏（3章担当）、岩間琢磨氏（4章担当・2章・6章協力）、小谷延良氏（5章協力）、深谷真佐江氏・細沼佳代氏・ミッチー里中氏（6章協力）、今田理恵子氏・中坂明子氏（6章解説協力）、加藤哲子氏（翻訳協力）、および（株）語研編集部の鳥袋一郎氏、遠藤梨沙氏には、心から感謝の意を表したいと思います。そして何よりも、我々の努力の結晶である著書を愛読してくださる読者の皆さんには、心からお礼申し上げます。それでは皆さん、明日に向かって**英語の道**を、

**Let's enjoy the process! (陽は必ず昇る)**

2016年4月

植田一三

# 目次

プロローグ .....	iii
-------------	-----

## 第一次・筆記試験対策

### 第1章 英文読解総合問題攻略法&トレーニング

通訳案内士第一次英文試験の傾向 .....	3
英文読解総合問題の傾向と対策とは！ .....	3
英文読解総合模擬問題にチャレンジ！① .....	4
英文読解総合模擬問題にチャレンジ！② .....	9
英文読解総合模擬問題にチャレンジ！③ .....	14

### 第2章 英文整序問題攻略法&トレーニング

英文整序問題の傾向と対策とは！ .....	21
英文整序模擬問題にチャレンジ！① .....	22
英文整序模擬問題にチャレンジ！② .....	27
英文整序模擬問題にチャレンジ！③ .....	32
並べ替え練習問題にチャレンジ！① .....	37
並べ替え練習問題にチャレンジ！② .....	40
並べ替え練習問題にチャレンジ！③ .....	43

### 第3章 英文和訳問題攻略法 & トレーニング

英文和訳問題の傾向と対策とは！ .....	49
英文和訳問題の難問パターンとは？ .....	49
英文和訳模擬問題にチャレンジ！① .....	55
英文和訳模擬問題にチャレンジ！② .....	62
英文和訳模擬問題にチャレンジ！③ .....	68

## 第4章 和文英訳問題攻略法 & トレーニング

和文英訳問題の傾向と対策とは！	77
和文英訳模擬問題にチャレンジ！①	77
その他の重要例文はこれだ！①	82
【空港（到着ロビー）での案内】 82	
【バス内での案内】 82	
【ホテルでの案内】 82	
和文英訳模擬問題にチャレンジ！②	84
その他の重要例文はこれだ！②	87
【観光地・旅館での案内】 87	
【空港（出発ロビー）での案内】 87	

## 第5章 日本事象・写真マッチング問題攻略法& トレーニング

日本事象・写真マッチング問題の傾向と対策とは！	91		
日本事象タームマッチング模擬問題にチャレンジ！①	91		
橋掛り 91	螺鈿 92	無常 92	欄間 93
日本事象タームマッチング模擬問題にチャレンジ！②	96		
天（仏像） 96	柔道 96	手水舎 97	
留袖 97	校倉造り 98		
写真タームマッチング模擬問題にチャレンジ！	102		

## 第二次・口述試験対策

## 第6章 二次面接試験攻略法& トレーニング

通訳案内士英文二次面接試験問題の傾向と対策とは！	121
プレゼンテーションのパターンはこれだ！	123

### 1. 観光・地理編

▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング①【富士山】	124
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ！～富士山	128

日英通訳力 UP トレーニング①【日本の地形】	130
日英通訳力 UP トレーニング②【お花見】	131
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング②【屋久島】	132
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～屋久島	134
日英通訳力 UP トレーニング③【日本三名園】	135
通訳案内士試験突破語彙を覚える【動植物】編	136
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング③【浅草】	137
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～浅草	138
日英通訳力 UP トレーニング④【浄土思想】	140
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング④【清水寺】	141
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～清水寺	143
日英通訳力 UP トレーニング⑤【仏像】	145
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑤【金閣寺】	146
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～金閣寺	147
日英通訳力 UP トレーニング⑥【国風文化】	149
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑥【東大寺】	150
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～東大寺	151
日英通訳力 UP トレーニング⑦【聖徳太子の偉業】	153
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑦【伊勢神宮】	154
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～伊勢神宮	156
日英通訳力 UP トレーニング⑧【5千円札】	157
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑧【厳島神社】	158
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～厳島神社	159
日英通訳力 UP トレーニング⑨【紅葉狩り】	161
日英通訳力 UP トレーニング⑩【原爆ドーム】	162

通訳案内士試験突破語彙を覚える【建造物】編	163
▶ プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑨【日光東照宮】	164
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～日光東照宮	166
日英通訳力UP トレーニング⑪【1万円札】	167
▶ プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑩【草津温泉】	168
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～草津温泉	170
日英通訳力UP トレーニング⑫【和室】	171
▶ プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑪【姫路城】	172
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～姫路城	173
日英通訳力UP トレーニング⑬【2千円札】	175
▶ プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑫【大阪城】	176
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～大阪城	177
日英通訳力UP トレーニング⑭【忍者】	179
▶ プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑬【祇園祭】	180
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～祇園祭	182
日英通訳力UP トレーニング⑮【七五三】	183

## 2. 宗教・歴史編

### (1) 宗教

▶ プレゼンテーション・Q&A トレーニング①【日本の宗教】	184
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～日本の宗教	187
日英通訳力UP トレーニング①【神前結婚式】	188
日英通訳力UP トレーニング②【葬式の参列】	189
▶ プレゼンテーション・Q&A トレーニング②【禅】	190
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～禅	192
日英通訳力UP トレーニング③【わび・さび】	194

日英通訳力 UP トレーニング④【仏教と日本文化】	195
通訳案内士試験突破「必須語彙」【宗教】編	195

## (2) 歴史

▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング①【天皇】	196
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～天皇	198
日英通訳力 UP トレーニング⑤【京都御所】	199
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング②【明治維新】	200
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～明治維新	201
日英通訳力 UP トレーニング⑥【将軍】	203
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング③【鎖国】	204
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～鎖国	205
日英通訳力 UP トレーニング⑦【織田信長】	207
通訳案内士試験突破語彙を覚える【歴史】編	208
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング④【侍】	210
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～侍	212
日英通訳力 UP トレーニング⑧【日本刀】	214
日英通訳力 UP トレーニング⑨【古墳】	215

## 3. 文化編

▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング①【和食】	216
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～和食	219
通訳案内士試験突破語彙を覚える【食べ物】編	220
日英通訳力 UP トレーニング①【松竹梅】	221
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング②【浮世絵】	222
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～浮世絵	224
日英通訳力 UP トレーニング②【蒔絵】	225



▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング③【茶の湯】	226
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～茶の湯	227
日英通訳力 UP トレーニング③【磁器】	229
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング④【華道】	230
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～華道	232
日英通訳力 UP トレーニング④【盆栽】	233
▶プレゼンテーション& Q&A トレーニング⑤【文楽】	234
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～文楽	236
日英通訳力 UP トレーニング⑤【漆】	237
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑥【歌舞伎】	238
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～歌舞伎	240
日英通訳力 UP トレーニング⑥【能と狂言】	241
日英通訳力 UP トレーニング⑦【カラオケ】	242
通訳案内士試験突破語彙を覚える【伝統文化】編	243
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑦【相撲】	244
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～相撲	246
日英通訳力 UP トレーニング⑧【柔道】	247
日英通訳力 UP トレーニング⑨【将棋】	248
通訳案内士試験突破語彙を覚える【現代文化・娯楽】編	249
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑧【芸者】	250
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～芸者	251
日英通訳力 UP トレーニング⑩【浴衣】	253
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑨【日本の正月】	254
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ!～日本の年中行事	256
日英通訳力 UP トレーニング⑪【お年玉】	257
日英通訳力 UP トレーニング⑫【ひな祭り】	258

年中行事の説明に使われる表現はこれだ！ .....	259
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑩【旅館】 .....	260
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ！～旅館 .....	261
日英通訳力UP トレーニング⑬【襖・障子 <sup>ふすま しょうじ</sup> 】 .....	262
日英通訳力UP トレーニング⑭【床の間】 .....	263
▶プレゼンテーション・Q&A トレーニング⑪【俳句】 .....	264
◎プレゼンテーションのQ&Aにチャレンジ！～俳句 .....	265
日英通訳力UP トレーニング⑮【源氏物語】 .....	266
日英通訳力UP トレーニング⑯【アニメ】 .....	267
索引（第5章・第6章の重要キーワードリスト） .....	270

### 【通訳案内士二次試験体験談コラム】

S.A. さん .....	136
T.K. さん .....	144
A.T. さん .....	209
K.S. さん .....	229
M.A. さん .....	249

第 1 章

.....

第一次

# 筆記試験対策

英文読解総合問題攻略法&トレーニング

.....

# 第1章 英文読解総合問題攻略法&トレーニング

## 通訳案内士第一次英文試験の傾向

通訳案内士試験の英文試験は、2006年に大幅な変更があり、その後、数回の変更を経て今日に至っています。2015年の問題も同様に、マーク式の「事象語彙問題」と3つの記述式の「英文和訳問題」「和文英訳問題」「日本事象・写真マッチング問題」がなくなり、「事象語彙問題」を除いた全部の問題が、マーク式へと大きく移行しました。

2015年の英文試験では、次の5つの項目の「読解総合問題」「語句並べ替え問題」「英文和訳問題」「和文英訳問題」「日本事象・写真マッチング」が、ほぼ大問毎に区切られて出題されたことが特徴となっています。比率的には大きく2つに分かれ、長文のある「読解総合問題」が4問15点、「語句並べ替え問題」が4問10点、「英文和訳問題」が3問15点と比率が比較的小さいのに対して、特に長文のない「和文英訳問題」と「日本事象・写真マッチング」が、それぞれ5問30点と併せて6割のウエイトを占める問題となりました。このような出題内容により、1問5点と配点の高い「英文和訳問題」と1問6点の長文のない後者の問題をうっかり2～3問でもケアレスミスすると、合格のボーダーとなる70点のクリアが危うくなるという試験の難易度となっています。

## 英文読解総合問題の傾向と対策とは！

他の大問へ独立した「語句並べ替え問題」以外はほぼ近年の読解総合問題の傾向を踏襲した形の2015年の問題は、日本事象の語彙や背景知識はもちろんながら、文章の細部における語彙や文法の知識、そして内容理解に伴って接続詞・副詞・前置詞といったものを当てはめる英語の総合力を試す問題が出題されています。この読解総合問題の対策には、普段から、日本の文化・社会・観光に関する記事に慣れておくことが必要で、英文を返り読みせず読解スピードを上げながら、さらに内容を十分に把握していくようなトレーニングが必要です。

以上の英文読解総合問題の傾向を身につけるために、3回分の英文読解総合模擬問題を用意しました。問題が難しすぎる場合は、**Words & Phrases**をチェックしてからトライしてみてください。それでは「英文読解総合模擬問題①」にチャレンジしていきましょう！

## 英文読解総合模擬問題にチャレンジ！①

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。 (制限時間 20 分・合格ライン 9 点以上)

Like Art, Tea has its periods and its schools. Its evolution may be roughly divided into three main stages: the Boiled Tea, the Whipped Tea, and the Steeped Tea. We moderns belong ( A ) the last school. These several methods of appreciating the beverage are indicative of the spirit of the age in which they prevailed. For life is an expression, our unconscious actions the constant betrayal of our innermost thought. Confucius said that “man hideth not”. Perhaps we reveal ourselves too much in small things because we have so ( B ) of the great to conceal. The tiny incidents of daily routine are as much a commentary of racial ideals as the highest flight of philosophy or poetry. Even as the difference in favorite vintage marks the separate idiosyncrasies of different periods and nationalities of Europe, so the Tea-ideals characterise the various moods of Oriental culture. The Cake-tea which was boiled, the Powdered-tea which was whipped, the Leaf-tea which was steeped, mark the ( C ) emotional impulses of the Tang, the Sung, and the Ming dynasties of China. If we were inclined to borrow the much-abused terminology of art-classification, we might designate them respectively, the Classic, the Romantic, and the Naturalistic schools of Tea.

The tea-plant, a native of southern China, was known from very early times to Chinese botany and ( 1 ). It is alluded to in the classics under the various names of Tou, Tseh, Chung, Kha, and Ming, and was highly prized for possessing the virtues of relieving fatigue, delighting the soul, strengthening the will, and repairing the eyesight. It was not only administered as an internal dose, but often applied externally in form of paste to alleviate ( 2 ). The Taoists claimed it as an important ingredient of the elixir of immortality. The Buddhists used it extensively to prevent drowsiness during their long hours of ( 3 ).

( D ) the fourth and fifth centuries Tea became a favourite beverage among the inhabitants of the Yangtse-Kiang valley. It was about his time that modern ( 4 ) Cha was coined, evidently a corruption of the classic Tou. The poets of the southern dynasties have left some fragments of their fervent adoration of the “froth of the liquid jade”. Then emperors used to (1) bestow some rare preparation of the leaves on their high ministers as a reward for eminent services. Yet the method of drinking tea at this stage was primitive in the extreme. The leaves were steamed, crushed in

a mortar, made into a cake, and boiled together with rice, ginger, salt, orange peel, spices, milk, and sometimes with onions! The custom obtains at the present day among the Tibetans and various Mongolian tribes, who make a curious ( 5 ) of these ingredients. The use of lemon slices by the Russians, who learned to take tea from the Chinese caravansaries, points to the survival of the ancient method.

(Tenshin Okakura, *The Book of Tea* を設問化に伴い一部修正)

注：“**man hideth not**”「人、いづくんぞ度(かく)さんや(人はその内面を隠せるものか、いや隠せない)」、**idiosyncrasy**(特異性、特質)、**Tou, Tseh, Chung, Kha, and Ming**(茶、<sup>せつ</sup>藪、<sup>せん</sup>舜、<sup>か</sup>積、<sup>みょう</sup>茗〔茶の古名〕)、**Taoists**(道教徒)、**caravansary**=caravan

- 空欄 ( A ) ( B ) ( C ) ( D ) に入れる語の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。(3点)
 

① to - few - distinct - By	⑤ at - little - distinct - By
② to - few - inherent - Until	⑥ at - little - banal - Until
③ to - little - distinct - By	⑦ at - few - inherent - By
④ to - little - banal - Since	⑧ at - few - inherent - Since
- 下線部 ( 1 ) の語と最も近い意味を表す語を一つ選びなさい。(3点)
 

① show	③ begin	⑤ take	⑦ require
② present	④ hold	⑥ try	⑧ squeeze
- 空欄 ( 1 ) ( 2 ) ( 3 ) ( 4 ) ( 5 ) に入れる語の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。(3点)
 

① medicine - rheumatic pains - meditation - ideogram - syrup
② medicine - diabetes - excursion - phonogram - bun
③ garden - rheumatic pains - meditation - ideogram - syrup
④ garden - diabetes - excursion - phonogram - bun
- 本文の内容に一致しないものを一つ選びなさい。(6点)
 

① 仏教の信者たちは、茶を不老不死の妙薬の重要な原料であるとした。
② ヨーロッパのいろいろな時代や国民がそれぞれ違う種類のワインを好むように、茶の理想も東洋の文化のさまざまな傾倒を表している。
③ 茶は、疲労を癒し、精神を歓喜させ、意志を強くし、視力を回復させる効能をもつために大いに尊重された。
④ 皇帝たちは、高官の功勞に対して、上製の茶を与えたものである。

	1.	2.	3.	4.
解答欄				

## 解答 & 解説

### 1. 正解 ③ to - little - distinct - By

(A) は、自動詞 belong が人・物の所属や所有関係を表す場合、通例 to が後に来て belong to ~ (～に属する) となる。

(B) は、「少ない」という意味を表すのに few か little かの選択になるが、この場合、the great は数えられない名詞であるので、little が正解。

(C) は、三種類の茶が、唐、宋、明の三つの時代の好みにくっきり分けられるという文脈から、distinct (はっきりと異なる) が正解。banal (陳腐な) や inherent (固有の) では文脈に合わない。

(D) は、時間の前後関係を表す前置詞 since, by, until を正しく選ぶ問題。since は話している時点まで続いている行為や状況の出発点を示し、ふつう現在完了形とともに用いられる。until (～までずっと) は、stay, wait など「継続」の意味をもつ動詞とともに用いられるのに対し、by (～までには) は finish (終わらせる)、turn in (提出する) など「一回きりの動作」を表す動詞とともに用いられる。問題の箇所は、「4～5世紀までに、茶は揚子江流域の住民の嗜好飲料になった」で、become (～になる) という「動作」を表す動詞があるので、by が適当。

### 2. 正解 ② present

「皇帝たちは、高官の功勞に対して、上製の茶を与えた (bestow) ものです。」

この単語に一番意味が近いのは、②の present である。他の選択肢は、① show (見せる)、③ begin (始める)、④ hold (持つ)、⑤ take (取る)、⑥ try (試す)、⑦ require (要求する)、⑧ squeeze (絞る)。

### 3. 正解 ① medicine - rheumatic pains - meditation - ideogram - syrup

(1) は、「南中国の原産である茶の木は、ごく早い時代から中国の植物学および薬学で知られていた」の文において medicine (薬学) を選ぶ。botany (植物学) に釣られて garden (庭) を選ばないように注意。そのあとの文で、茶の薬としての効用に触れているのがヒントになる。

(2) は、茶がしばしば「膏薬の形で外用薬としても用いられた (applied externally in the form of paste)」とあることから、rheumatic pains (リウマチの痛み) を選べる。

(3) は、仏教徒が行うもので、眠気を散らす必要があるもの、ということで、excursion (遠足) ではなく meditation (瞑想、黙想) を選べる。

(4) は、「茶」という漢字が ideogram (表意文字) か phonogram (表音文字)

かがわかれば容易に判断できる。

(5) も、古来の茶の飲み方が今もチベット人やモンゴル系民族の間で行われていることから、**bun** (パン) ではなく、**syrup** (蜜) だとわかる。こういう問題は、必ず文中にヒントとなる言葉があるので、問題の前後を注意深く読んでみよう。

4. 正解 ①仏教の信者たちは、茶を不老不死の妙薬の重要な原料であるとした。

茶を不老不死の妙薬の重要な原料であるとしたのは、第2段落から、「仏教の信者」ではなく、正しくは「道教徒 (Taoists)」であることがわかる。

②は第1段落、③は第2段落、④は第3段落の内容にそれぞれ合致する。

## 和訳

芸術と同じく、茶にもその時代と流派があります。茶の進化は大体三つの段階に大別できます。すなわち、煮茶、抹茶、煎茶です。私たち現代人は、その最後の流派に属しています。これらの、茶のいろいろな味わい方は、それらが普及していた当時の時代精神を暗示しています。というのは、生活は私たちの内心の表現であり、無意識の行動は私たちの心の奥底の絶えざる発露であるからです。孔子いわく、「人、いずくんぞ<sup>かく</sup>腹さんや（人はその内面を隠せるものか、いや隠せない）」と。多分私たちは、隠すほど重大なことはほとんどないので、些細なことで自分をさらけ出すことが多すぎるのでしょうか。日常の茶飯事も、高尚な哲学や詩歌と同じように、民族が理想とするところを知る手掛かりとなります。好みのワインの銘柄の違いが、ヨーロッパのいろいろな時代や国民のそれぞれの特質の表れであるように、茶の理想も東洋の文化のさまざまな傾倒を表しています。煮る団茶、<sup>た</sup>点てる抹茶、<sup>い</sup>入れる葉茶は、それぞれ唐、宋、明のはっきりした情動の違いを表しています。芸術を分類する際に乱用されてきた用語を借りて言えば、これらはそれぞれ、古典的、<sup>ろまん</sup>浪漫的、そして自然主義的な茶の流派と言えるでしょう。

南中国の原産である茶の木は、ごく早い時代から中国の植物学および薬物学で知られていました。茶は古典の中で、<sup>と</sup>茶、<sup>せつ</sup>藪、<sup>せん</sup>蔞、<sup>か</sup>檳、<sup>か</sup>茗というようないろいろな名前でも暗に示されていて、疲労を癒し、精神を歓喜させ、意志を強くし、視力を回復させる効果をもつために大いに尊重されたのです。内服薬として服用されただけでなく、リュウマチの痛みを和らげるために、しばしば<sup>こうやく</sup>膏薬の形で外用薬としても用いられました。道教徒たちは、不老不死の妙薬の重要な原料であるとしていました。仏教徒たちは、長時間の黙想中に、眠気を散らすために広く茶を利用しました。

4～5世紀までに、茶は揚子江流域の住民の嗜好飲料になりました。明らかに、古代の「<sup>と</sup>茶」という文字を崩したものである、「茶」という象形文字が作られたのもこのころです。南朝の詩人たちの作品からは、この「液体なる<sup>ひすい</sup>翡翠の泡沫」への熱烈な崇拜の思いが忍ばれます。皇帝たちは、高官の功勞に対して、上製の茶を与えたものです。しかしながら、この段階での茶の飲み方は、きわめて原始的なものでした。茶葉は蒸して、すり鉢ですり、団子



にして、米、生姜、塩、橘皮、香辛料、牛乳、時には玉ねぎとともに煮られました。この習慣はチベット人やさまざまなモンゴル系民族の間で今も行われており、彼らはこれらの材料で一風変わったシロップを作るのです。ロシア人が茶にレモンスライスを入れるのは、彼らが茶の飲み方を中国人の隊商から教わったためですが、これは古代の茶の飲み方が今も残っていることを示しています。

## Words & Phrases

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> evolution (進化)               | <input type="checkbox"/> will (意志)                       |
| <input type="checkbox"/> divide into ~ (～に分かれる)       | <input type="checkbox"/> alleviate pains (痛みを和らげる)       |
| <input type="checkbox"/> beverage (飲料)                | <input type="checkbox"/> ingredient (原料)                 |
| <input type="checkbox"/> be indicative of ~ (～を暗示する)  | <input type="checkbox"/> elixir of immortality (不老不死の妙薬) |
| <input type="checkbox"/> prevail (普及する)               | <input type="checkbox"/> drowsiness (眠気)                 |
| <input type="checkbox"/> unconscious actions (無意識の行動) | <input type="checkbox"/> meditation (黙想)                 |
| <input type="checkbox"/> betrayal (露呈)                | <input type="checkbox"/> inhabitant (住民)                 |
| <input type="checkbox"/> innermost thought (心の奥の考え)   | <input type="checkbox"/> coin ([新しい言葉] を作る)              |
| <input type="checkbox"/> Confucius (孔子: 中国の春秋時代の学者)   | <input type="checkbox"/> corruption (変造)                 |
| <input type="checkbox"/> conceal (隠す)                 | <input type="checkbox"/> fragment (断片)                   |
| <input type="checkbox"/> commentary (解釈, 説明)          | <input type="checkbox"/> fervent (熱烈な)                   |
| <input type="checkbox"/> philosophy (哲学)              | <input type="checkbox"/> adoration (崇拜)                  |
| <input type="checkbox"/> vintage (極上のワイン)             | <input type="checkbox"/> froth (泡)                       |
| <input type="checkbox"/> idiosyncrasy (特異性, 特質)       | <input type="checkbox"/> liquid (液体の)                    |
| <input type="checkbox"/> whip (泡立たせる)                 | <input type="checkbox"/> jade (翡翠)                       |
| <input type="checkbox"/> steep (～を浸す)                 | <input type="checkbox"/> bestow (与える)                    |
| <input type="checkbox"/> the Ming dynasty (明王朝)       | <input type="checkbox"/> eminent service (顕著な功労)         |
| <input type="checkbox"/> terminology (用語)             | <input type="checkbox"/> primitive (原始的)                 |
| <input type="checkbox"/> botany (植物学)                 | <input type="checkbox"/> mortar (すり鉢)                    |
| <input type="checkbox"/> allude to ~ (～についてほめかす)      | <input type="checkbox"/> tribe (民族)                      |
| <input type="checkbox"/> relieve fatigue (疲労を回復する)    | <input type="checkbox"/> caravansary (隊商, キャラバン)         |

皆さん、問題の手ごたえはいかがでしたでしょうか？ 以上で「英文読解総合模擬問題①」は終了です。次は「英文読解総合模擬問題②」です。それでは、張り切ってまいりましょう！

第2章

.....

第一次

# 筆記試験対策

英文整序問題攻略法&トレーニング

.....

## 第2章 英文整序問題攻略法&トレーニング

### 英文整序問題の傾向と対策とは！

英文整序問題の近年の傾向では、2つの内容の異なる読解総合問題から1問ずつ計2問が出題されていましたが、2015年の問題では、初めて1つの英文から3問が出題されて1問増えることになりました。この問題では並び替えた後の区切られた部分を3箇所記号で答えることになりますが、2014年までは3つ全部を一致させて完答5点という問題が多数を占めていたのに対して、2015年は3箇所にそれぞれ1点の配点が与えられて、どれか1つでも一致すれば得点となりました。しかしながら、以前より配点は1問につき3点と低くなったものの、1つ間違えばほぼ全滅になりかねないので過去の問題と同様に油断ができません。さらにこの3問の並び替えに加えて、文脈に関連した文法語法の知識を問う問題が1問出題されています。

英文整序問題の対策には、日頃から添削などを受けながら、適切な語彙の選びと文法を用いたライティングをカッチリできるようにする意識の向上とトレーニングが必要です。さらに、日頃から多くの自然な英文になじんで、さまざまな表現を身につけるように心がけ、英語的発想でどんどん英作文や英会話に使う運用できるよう練習することも大切です。

以上の英文整序問題の傾向を身につけるために、3回分の英文整序模擬問題を用意しました。問題が難しすぎる場合は、**Words & Phrases** をチェックしてからトライしてみてください。それでは「英文整序模擬問題①」にチャレンジしていきましょう！

## 英文整序模擬問題にチャレンジ！①

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

(各1点×10 = 10点)

(制限時間 20分・合格ライン 7点以上)

Perhaps the best example of this type of monochrome “painting” garden is the famous creation at Daisen-in, a part of the Daitoku-ji temple compound in Kyoto. The sand-and-stone garden here is on all sides of the temple building, placing the viewer literally in the middle of a Sung landscape. The focus of the painting, however, is in one small corner of the grounds, where a pair of head-high vertical stones have been used to represent Sung mountain peaks while striated\* white sand placed around and among the larger background mountains, together with smaller flat-topped rocks in the foreground, suggest the inrush of water from a symbolic cataract. The simulated stream of white sand winds among river rocks as it passes across the front of the viewing platform. Included in the design (7) (① of, ② a stone bridge, ③ one, ④ the sandy stream, ⑤ crossing, ⑥ portion, ⑦ are) and a large boat-shaped stone enhancing the symbolism of water. The water seems to disappear under the temple veranda and emerge on the other side as a shimmering white sea. Adjacent to the tall mountain stones are several ancillary rocks approximately waist-high, over which flow stream of white sand, suggesting a large cataract captured in monochrome. Just as an expert Zen painter extracts the details of a scene in a few strokes of the brush, [ A ] the master of Daisen-in succeeded in distilling from the natural world precisely those elements that excite the spirit.

This classical *kare sansui* garden is thought to have been designed around 1513, (1) (① one, ② after, ③ of, ④ temples, ⑤ run-down, ⑥ reconstructed, ⑦ from, ⑧ the, ⑨ left) the Onin War. Credit for the design is traditionally (but probably erroneously) given to the artist So’ami (1472-1525), a well-known painter. The distinction between painting and garden art was necessarily blurred, since these gardens were in fact intended to copy paintings more than nature. The true mark of a Zen painter was his ability to handle rocks and mountains in the prescribed manner, with sharp, angular brushstrokes devoid of softness or sentimentality. Naturally enough, stones with this same quality were essential for the *kare sansui* gardens, but such stones were extremely rare and prized almost beyond price. Trees could be grown; stones had to be found in the mountains and moved somehow to

Kyoto.

During the heyday of the Kamakura and Ashikaga glory, there were resources at hand to find, move, and position stones—and at times armies of over a thousand men were impressed into service for this task. After the Onin War no such large number of people were available, but there was a ready source of superb stones: the burned-out temple and estate gardens of old Kyoto. Furthermore, monks from many of the earlier temples had systematically pillaged the estates of Heian nobles for stones, (ウ) ( ① collections, ② the cream, ③ create, ④ the stone, ⑤ to, ⑥ from, ⑦ of, ⑧ earlier centuries, ⑨ using ) their small gardens. So when the builders of Daisen-in began to collect stones, they had the finest examples of centuries of collection at their disposal. Hence the magnificent stones at Daisen-in actually represent the *creme de la creme* of garden stonework, rising phoenix-like out of the destruction of older estates.

(Thomas Hoover, *Zen Culture* を設問化に伴い一部修正)

©Thomas Hoover, 1977 Partially revised for the question format (<http://bit.ly/1VaNH26>)

注：striated（線状の）

- 空欄 [ A ] に入れる語として、最も適切なものを一つ選びなさい。  
① which    ② thus    ③ so    ④ when    ⑤ how
- 下線部（ア）を意味が通るように並べ替え、2 番目、5 番目、7 番目に来る語を記号で答えなさい。
- 下線部（イ）を意味が通るように並べ替え、2 番目、6 番目、8 番目に来る語を記号で答えなさい。
- 下線部（ウ）を意味が通るように並べ替え、2 番目、6 番目、8 番目に来る語を記号で答えなさい。

解答欄

1.		
2.	2 番目	
	5 番目	
	7 番目	

3.	2 番目	
	6 番目	
	8 番目	
4.	2 番目	
	6 番目	
	8 番目	

第 3 章

.....

第一次

# 筆記試験対策

英文和訳問題攻略法&トレーニング

.....

## 第3章 英文和訳問題攻略法&トレーニング

### 英文和訳問題の傾向と対策とは！

英文和訳問題の近年の傾向では、1つの英語の文章の中から指定された文を2つ和訳する記述式問題で合計15点の配点を与えられていましたが、2015年の試験では初めてマーク式の問題に変わり、1つの英語の文章の中から3つの英文をそれぞれ5つの選択肢から選ぶという、大幅に改定された問題となりました。指定された英文を訳された日本語の選択肢の中から選ぶということで簡単のようにも思えますが、やや難しい英語構文が含まれたり、「反語」といった自然な日本語に訳す必要性のある出題に加えて、選択肢が微妙に言い回しが異なる感じのものとなっています。なかなか<sup>あなと</sup>侮れない問題といえるのは、1問5点と配点が高いので、1問でも間違えると合格点のボーダーの70点を切る危険性が高くなるからです。この英文和訳問題の対策には、常日頃から英文全体の内容把握とともに、逐語訳ではない、こなれた自然な訳を心がけるようなトレーニングをすることが必要です。それでは、英文和訳問題にチャレンジする前に、まず英文和訳問題の難問パターンを勉強して注意すべき点を身につけておきましょう。

### 英文和訳問題の難問パターンとは？

難問パターンとしては5つあります。

1. 構文は簡単だが語彙が難しいもの
2. 語彙は簡単だが構文が複雑なもの
3. 無生物主語で訳しにくいもの
4. 単語は簡単のようにみえるが、多義語のために難しいもの
5. 語彙も構文も複雑なもの

この中で1番は語彙を増やせばいいので簡単と言えば簡単ですが、問題は2番や5番でしょう。そこで、皆さんに和訳の実力をグーッとUPしていただくために、和訳のコツをご紹介します。必ず訳を考えてから解説を読んでください。

## 攻略法 1

### 無生物主語をうまく和訳する

格調高い文ではこの無生物主語が非常に多いのですが、日本人の発想にはなじみにくいので、副詞的に訳さないと自然な日本語になりません。次の例を見てください。

#### 「無生物主語に注意！」

例題  
①

In Japan, the trend toward more women working for pay has not been matched by an increased involvement of men in unpaid work. Women still bear the brunt of housework and child care even when they also work outside the home.

#### 解説

「より多くの女性が報酬を求めて働く傾向は、無報酬の仕事への増加した男性の介入に匹敵していない」といった直訳はあまりにも汚い訳でしょう。「多くの女性が報酬を求めて働く傾向が高まる一方、無報酬の仕事に関与する男性の数はそれ程の伸びを示していない」のような自然な日本語にする必要があります。

このように無生物主語は副詞的に「～すると、～すれば」と訳すと自然な日本語になります。無生物主語の後には make, give [provide], cause [bring about], lead to, result in, mean, encourage, enable, require, contribute to などがよく使われます。

そして主語が強調され、引き締まってパンチのきいた格調高い訳になります。

## 攻略法 2

### 複雑な構文に慣れる

難しいものとしては、省略、倒置、挿入、複合関係代名詞、比較強調、分詞構文などが挙げられますが、高校英語の基礎を身につけ、文脈から判断していくようにしてください。早速、次の問題にトライしてみてください。

#### 「比較構文に注意！」

例題  
②

There is a deep human need for virgin wilderness that is no less compelling for the fact that it cannot be measured in dollars and cents. The need is both aesthetic and spiritual; it runs deep in the American character and tradition and it is no more easily defined than it is easily dismissed.

#### 解説

比較構文 no less, no more A than B をうまく訳せるかを試す問題で、no less ~



for は、not the less for ~, none the less for と同じく「それでもなお、やはり」という意味です。訳すと「荒野への人間の欲求は根深く、それは金銭では計れないとしても依然強烈なものだ」。次に、「その欲求は美的で……」とするとわかりにくいので、「その欲求は美的なものへの欲求であると同時に精神的なものである」とか、「その欲求は美的感覚にかかわるものであると同時に、精神的なものである」と工夫してください。この後は「それはアメリカ人の性格と伝統の中に深く流れているものであり、簡単に捨てられるものでもなければその実態を明確にできるものでもない」とします。こういった no more A than B (B でないのと同様 A でない) の他にも、次のような大学入試レベルの比較表現はもう一度復習しておきましょう。

- **no more than ~ = only** (絶対に~以上ではない → ~にすぎない)
- **no less than ~ = as many [much] as** (絶対に~より少なくない → ~ほども多く〈驚き〉)
- **not more than ~ = at most** (~より多くない → せいぜい)
- **nothing more than ~** (~にすぎない → no と同じく否定の強調)
- **nothing less than ~** (~も同然、少なくとも~くらい), little less than ~なら「~とほとんど同様で」
- **more A than B** (B よりむしろ A)
- **more than ever [before]** (さらに、ますます)
- **all the more ~ for [because]** (~だからいっそう~だ)
- **no less A《形》 than B《形》 = not so much A as B** (A というよりむしろ B である)
- **no less a person [place] than N《名》** (ほかならぬ N《名》である)
- **no less A《形》 than N《名》** (N《名》に劣らず A《形》である), noの方がnotより否定の意味が強いため not less A《形》 than N《名》が単に「Nと同じくらいA」の意味に対して no less A than Nの場合は「Nに高い評価があってそれに劣らずAである」の意味になる。例えば “You’re not less pretty than she is.” は「きみは彼女と同じくらいかわいい」と言っても、彼女が必ずしもかわいいとは限らないのに対し, “You’re no less pretty than she is.”の方は「彼女がすごくかわいくて彼女に劣らずきみはかわいい」と言っています。
- **much less ~ = still less ~** (ましてや~ではない)
- **none other than ~** (他ならぬ~である 〈驚き〉)
- **might [may] (just) as well A《動》 as B《動》** (BするくらいならAする方がまだ、BするのはAするようなものだ)

## 英文和訳模擬問題にチャレンジ！②

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

(各5点×3 = 15点)

(制限時間 20分・合格ライン 10点以上)

Shinto, the way of the gods, is a way of embracing reality characterized by non-duality. There has been no historical parallel for what Westerners call identity. Spirit and matter used to be grasped as inseparable. Shinto claims no official dogma or sacred scriptures. Such central concepts as *kami* (deities), *musubi* (creating and harmonizing power), *makoto* (truthfulness), and *harai* (purification) are integrated into the total Shinto way of life and worship. (1) Shinto has imparted its tolerant and accepting attitude to *haragei*'s value-free orientation. One's *hara* must be "pure" to accept another's mind as it is, as does Shinto. There can be no power games in a nature-to-nature communication. Shinto does not seek dominance over Buddhism or Confucianism; it merely co-exists with them as nature does. Shinto itself is compulsively receptive in nature and rejects nothing, though Shintoists may not be so open. (2) The readiness to swallow the pure with the impure required of men of *hara* has its roots in Shinto and is considered to be what it takes to be a qualified *haragei* practitioner. Such Shintoist open-mindedness, or broad-mindedness, made it possible for the ancient Japanese to accept seven popular deities of different nationalities for their popular worship, known as *Shichi-fuku-jin* (Seven Lucky Gods). (3) The notion of the "chosen Gods" would sound appallingly sacrilegious to Westerners' ears unless they possess big enough *hara* to compromise their surface principle. The readiness to accept things as they are and as they come lends itself to the concept of *sunao*, or obedience, that abhors critical attitudes.

(MATSUMOTO Michihiro, *The Unspoken Way Haragei: Silence in Japanese Business and Society* を許諾のもと、設問化に伴い一部修正)

1. 下線部(1)の日本語訳として最も適切なものを選びなさい。

- ① 神道の寛容さとすべてを決めつける姿勢が自由な価値観を持つ腹芸の志向に伝えられている。腹は神道の心があるがままに受け入れるために「純粹」でなければならない。
- ② 神道の寛容さと人に同意する態度が自由な価値観を持つ腹芸の志向に伝えられている。腹は神道の心があるがままに受け入れるために、「純粹」でなければならない。
- ③ 神道の寛容さとすべてを受け入れる姿勢が価値観のない腹芸の志向に生かさ

れている。腹は神道を受け入れるように、他人の心があるがままに受け入れるために「無心」でなければならない。

- ④ 神道の寛容さと何事も受け入れる姿勢が価値判断をしない腹芸の姿勢に生かされている。腹というのは神道と同様に、他人の心があるがままに受け入れるために「純粹」でなければならない。
- ⑤ 神道の寛容さとすべてを受け入れる態度が価値のない腹芸の志向に生かされている。腹は神道の心があるがままに受け入れるために、「純粹」でなければならない。

2. 下線部 (2) の日本語訳として最も適切なものを選びなさい。

- ① 腹のある人間に課される、進んで清濁併せ吞もうとするという心構えは神道にルーツを持ち、正真正銘<sup>せいだく</sup>の腹芸家であるための必要な覚悟とみなされている。
- ② 腹のある人間に必要な、純粹なものも汚れたものも両方受け入れる姿勢は神道にルーツを持ち、腹芸の達人の要素とみなされている。
- ③ 腹のある人間が兼ね備える、純粹なものも汚れたものも両方受け入れる姿勢は神道にルーツを持ち、正真正銘の腹芸家であるための必要な資格とみなされている。
- ④ 腹のある人間に不要な、進んで清濁併せ吞もうとするという心構えは神道にルーツを持ち、折り紙つきの腹芸家であるための必要な覚悟とみなされている。
- ⑤ 腹のある人間が兼ね備える、純粹なものも汚れたものも両方受け入れる姿勢は神道にルーツを持ち、折り紙つきの腹芸家であるための必要な性格とみなされている。

3. 下線部 (3) の日本語訳として最も適切なものを選びなさい。

- ① 「選ばれた神々」という信仰は、西洋人が自分たちの建前を守るぐらいの度量のある十分な腹がなければ、彼らにとって恐ろしいほどの冒とくになるだろう。
- ② 「選ばれた神々」という考えは、西洋人が表向きのポリシーを曲げるくらい腹が大きくなると、彼らにとってこれ以上になく神聖なものに見えるだろう。
- ③ 「選ばれた神々」という信仰は、西洋人が自分たちの建前を守るぐらいの度量のある十分な腹があれば、彼らにとってこれ以上になく神聖なものになるだろう。
- ④ 「選ばれた神々」という考えは、西洋人が表向きのポリシーを曲げるくらい腹が大きくなると、彼らにとって恐ろしいほどの冒とくにはならないだろう。

⑤「選ばれた神々」という考え方は、西洋人が表向きのポリシーを曲げるくらい腹が大きくないと、はなはだしい冒とくと見なすでしょう。

解答欄

1.	2.	3.

第6章

.....

第二次

# 口述試験対策

口述試験攻略法&トレーニング

.....

## 第6章 二次面接試験攻略法&トレーニング

通訳案内士の二次試験は、通訳とプレゼンテーションから成ります。その最も効果的な対策は、プレゼンを中心に、同じ分野のトピックを同時に通訳練習を通じて勉強し、通訳力も同時に上げるというものです。

そこで本章では、まず過去問の頻出トピックを分析し、それに基づいて、プレゼンを最も効果的にトレーニングしていきます。その方法とは、ひな形を覚え、ひな形に基づいてシステマティックに情報をインプット・アウトプットする練習をすることです。そのひな形を紹介し、それに基づきプレゼントレーニングを行いながら、同時に通訳練習&語彙・表現力UPをしていきたいと思います。

### 通訳案内士英文二次面接試験問題の傾向と対策とは！

2015年度新傾向の二次口述試験は新傾向初の試験で、日本政府観光局発表のガイドライン見直しに沿い、「日本の観光地等に関連する主な日本地理・日本歴史の事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについて、最新の『観光白書』や新聞に掲載された時事問題をベースに出題」という一次試験の内容を反映したものでした。さらに、逐次通訳問題26題、プレゼンテーショントピックス78個と中身が格段に増えました。分野別出題傾向は、頻度が高い順に次のようになっています。

#### 二次面接頻出出題分野はこれだ！

順位	分野
第1位	観光・地理分野
第2位	現代社会分野
第3位	歴史分野
第4位	伝統・芸術分野
第5位	宗教分野
第6位	慣習・風物分野

まず全体の約半数近くを占める第1位の「観光・地理関連」分野では、以前出題された「温泉」関連は「銭湯」という形での出題、建築物関連の出題（書院造、合掌造り、金閣寺の構造）が増え、「日本の城」はプレゼン、逐次案内双方で出題がありました。有名な寺社や城は構造の特徴を含めチェックする必要があるでしょう。また祭りも必ず出る課題の一つですから、有名な祭りは必ずチェックしましょう。

注意すべきは普段耳にする旅行・観光用語などのトピック出題。**地理分野では、特産品**が新しい課題として出題されています。

第2位の「**現代社会関連**」分野も出題数が増え、難易度の上がった分野です。これらはガイドライン変更の示す「最新の観光白書や時事問題の基礎的用語」に該当します。普段よく耳にする、また外国人観光客が現代日本特有のものとして関心を持ちそうな話題はチェックする必要があります。また、本来の姿とは形を変えて日本でも人気ある季節のイベントの出題がありました。交通に関しては、以前は「**新幹線**」「**北陸新幹線**」などの出題でしたが、今回は「**路面電車**」という課題が出題されています。

第3位の「**歴史関連**」分野は、以前は江戸から明治にかけての事項が圧倒的に多かったのですが、今回は人物課題（**卑弥呼**<sup>ひみこ</sup>、**聖徳太子**、**徳川家康**、**坂本龍馬**<sup>りょうま</sup>）が大幅に増えています。歴史上の有名な人物をチェックしておきましょう。これに関しては、**お札**に載っている人物という形の出題もあります。前回同様、「古墳」もプレゼン、逐次通訳双方で出題されているので、押さえておく必要があります。

第4位の「**伝統・芸術関連**」分野も出題数が増えた分野ですが、「日本の**伝統芸能**」概論が変わらず出題され、伝統工芸の**扇子**<sup>せんす</sup>、**漆器**<sup>しつぎ</sup>、変わったところでは、**鹿おどし**が出題されています。日本語に関しては以前の概論からより具体的になっています。

第5位の「**宗教関連**」分野からは、**神道関連**の課題（**神楽**<sup>かぐら</sup>、**彼岸**、**概論**）が変わらず出題されています。また、平成25年にユネスコ無形文化遺産に登録され、外国でもファンの多い**和食**に関する出題（**和食**、**お節料理**、**精進料理**、**懐石料理**、**おでん**、**鍋料理**、**突き出し**、**お茶漬**）が大幅に増えています。典型的なものばかりですが、基本的用語は押さえる必要があります。

また、日本人の国民性を問う課題も加わり、グローバリゼーションの影響と共に日本への外国人観光客が増える今日、**基本的な日本人論に関連する説明**は押さえる必要があります。

以上のように難易度は上がったと言えそうですが、新傾向の二次口述試験は従来どおりの伝統的事項を押さえ、より幅広い観光シーンにマッチし、現代日本社会事情を説明し、外国人観光客が興味を引く案内を目指した内容になっていると言えるでしょう。

## プレゼンテーションのパターンはこれだ！

- ①カテゴリ・概論（&ロケーション）
- ②文化・自然遺産・国宝などのステータス
- ③最も重要な特徴（& 2 番目に重要な特徴）
- ④代表例 or 歴史的背景
- ⑤エンディングの言葉

プレゼンでは、全部で5～6文のポイントをカバーした文を作ります。第1文は【**カテゴリ**】で、富士山なら「**霊山**」、歌舞伎なら「**伝統的な舞台劇**」のように述べた後、観光・地理では、ロケーションを加えます。その時、外国人に無名の地名の場合は、よく知られた場所（東京・大阪など）から電車で1時間のように述べるのがコツです。

次に、【**世界文化遺産・世界自然遺産・無形文化財・国宝・日本三景などのステータス**】を述べます。その次に【**特徴**】を述べますが、複数の特徴がある場合は、重要な順に述べます。その次に、代表例または歴史を述べます。そして最後にひな形を使って、お勧めの言葉で締めくくります。

以上のパターンで大体のトピックはOKですが、これに当てはまらないものが全体の2、3割ありますので、その場合には、最初に【**概論**】を述べた後、【**代表例**】を1、2、3と述べていき、最後に【**全体の要約**】で締めくくります（「**並列型**」という）。詳しくは、「2. 宗教・歴史編」の【**日本の宗教**】（p.184）をご覧ください。

それでは、これらのひな形を用いたプレゼン練習をしていきましょう。



# 1. 観光・地理編

観光・地理のプレゼン・日英通訳力UPトレーニングは世界遺産になった富士山からです。テンプレートに基づいて、6つの項目について言えるようにトレーニングしましょう。まずは、富士山に関して、30秒でキーワードを考えてください。言えたらSTEP 1のキーワードを見て自分のと比較してみましょう。それでプレゼンをできる人はトライしてみてください。できなければ、和文を見て通訳練習をしてみましょう。次にQ&Aにトライしましょう。そして最後に何も見ずにプレゼンにもう一度チャレンジしてみてください。それではスタート！

## プレゼンテーション・Q&A トレーニング①【富士山】

### STEP 1 キーワードを考える

まずストップウォッチを用意し、30秒以内に富士山プレゼンのためのキーワードを5～6個考えてみましょう。難しい場合は、以下のキーワードを参照してください。

#### 富士山プレゼンのためのキーワードはこれだ！

- |   |                                 |   |
|---|---------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 霊山                     | <input type="checkbox"/> 世界文化遺産 | <input type="checkbox"/> 雪冠と円錐 <small>せつかん えんすい</small> |
| <input type="checkbox"/> 最高峰 <small>たかい</small> | <input type="checkbox"/> 信仰の対象  | <input type="checkbox"/> 芸術家を鼓舞 <small>こぶ</small>       |

キーワードが浮かんだら、そのキーワードをうまく使ってプレゼンをしてみましょう。2分という長さを体感するために、必ず時間を測る習慣をつけてください。また、できればMP3レコーダーなどを使って、自分のプレゼンを録音しておきましょう。プレゼン終了後、STEP 3で、プレゼン例と自分のプレゼンを比較してください。

いきなり英語プレゼンをするのが難しい場合は、STEP 2へ進んでください。

### STEP 2 日英通訳できるようにトレーニング！

キーワードを含んだ以下の日本語を見て英訳してみましょう。このトレーニングにより、プレゼン力と日英通訳力の双方をUPさせることができます。

- ① 富士山は霊峰で、静岡と山梨の県境に位置しています。
- ② それは、2013年、世界文化遺産に指定されました。
- ③ 富士山はその比類なき美しさの雪冠と完璧な円錐の形で、世界的に有名な山です。
- ④ 日本の最高峰で、高さは3,776メートルです。
- ⑤ この山は長い間、多くの日本人の間で信仰の対象とされ、有名な画家である葛飾北斎を含む多くの芸術家を鼓舞しました。
- ⑥ 登山客や行楽客など世界中から何百万人も訪問者を引きつけています。ぜひこの非常に美しい富士山を訪れていただきたいと思います。

### STEP 3 観光名所プレゼンはこれだ！

観光名所のプレゼンは、以下のひな形に重要ポイントを入れ替えていけば、たいしてOKです。富士山を例に説明していきます。

#### ① 【カテゴリ&場所】

**Mt. Fuji is a sacred mountain, which is situated on the border of Shizuoka and Yamanashi Prefectures.**

まずはカテゴリと場所を述べます。上の英文を覚えるのが難しい場合は、

Mt. Fuji is a sacred mountain, which is located in Shizuoka and Yamanashi Prefectures.

とシンプルに表現してもいいでしょう。また、静岡と言ってもわかりにくいので、It is a 2-hour train ride from Tokyo. と言えばさらに立地がわかりやすくなります。

#### ② 【世界遺産】

**It was designated as a World Cultural Heritage site in 2013.**

次に「ユネスコ、国宝、三景」などの格付けを述べます。**be designated as ~**（～に指定された）はプレゼン必須表現です。**be listed as ~**（～登録された）と言い換えてもOKです。

### ③ 【最も重要な特徴】

**Mt. Fuji is a world-famous mountain with a snow cap and a perfect cone shape of unparalleled beauty.**

そして次に最も重要な特徴を述べます。「～で有名」は、その度合いにより be (known < well-known < famous < very famous < world-famous) as ~ 「～として (知られた < よく知られた < 有名な < とても有名な < 世界的に有名な)」を使い分けるとよいでしょう。上の英文が覚えにくい場合は、

Mt. Fuji is world-famous for its very beautiful snow cap and perfect cone shape.  
と簡単に言えます。

### ④ 【2番目に重要な特徴】

**It is the highest peak in Japan, standing as high as 3,776 meters.**

そして次に重要な特徴はサイズです。これも簡単に、It is the highest mountain in Japan, as high as 3,776 meters. としてもいいでしょう。ここまでが最低限述べべき情報で、余裕があれば、次にその歴史を述べます。

### ⑤ 【歴史】

**This mountain has long been the object of worship among most Japanese. It has inspired many artists including the famous painter Katsushika Hokusai.**  
(optional)

これをもっと簡単に言うと、This mountain has been worshipped by most Japanese. It has inspired many painters including Katsushika Hokusai. となります。

### ⑥ 【縮めの吹聴】

**It attracts millions of visitors from all over the world, including mountain climbers and holiday makers. I strongly recommend you visit the very beautiful Mt. Fuji.**

最後にひな形を使って縮めの言葉で富士山をほめて終わります。上とは別のひな形を使って、This mountain is one of the most popular tourist destinations [sightseeing spots], and attracts millions of tourists every year. I do recommend you visit Mt. Fuji. とシンプルに締めくくってもよいでしょう。

以上の通常バージョンとシンプルバージョンをまとめると次のようになります。何度も音読やシャドーイングをして、プレゼンの基本形をマスターしましょう。

MP3 CD  File# 002

### 富士山 : Model Answer

Mt. Fuji is a sacred mountain, which is situated on the border of Shizuoka and Yamanashi Prefectures. It was designated as a World Cultural Heritage site in 2013. Mt. Fuji is a world-famous mountain with a snow cap and a perfect cone shape of unparalleled beauty. It is the highest peak in Japan, standing as high as 3,776 meters. This mountain has long been the object of worship among most Japanese and has inspired many artists including the famous painter Katsushika Hokusai. It attracts millions of visitors from all over the world, including mountain climbers and holiday makers. I strongly recommend you visit the very beautiful Mt. Fuji.

この基本形が難しい場合は、以下のシンプルバージョンを最低限押さえておきましょう。

MP3 CD  File# 003

### 富士山 : Model Answer—Simple version

Mt. Fuji is a sacred mountain, which is located in Shizuoka and Yamanashi Prefectures. It was listed as a World Cultural Heritage site in 2013. Mt. Fuji is world-famous for its very beautiful snow cap and perfect cone shape. It is the highest mountain in Japan, as high as 3,776 meters. This mountain has been worshipped by most Japanese. It has inspired many painters including Katsushika Hokusai. This mountain is one of the most popular tourist destinations, and attracts millions of tourists every year. I do recommend you visit Mt. Fuji.

さて、プレゼン問題はいかがでしたか？ それでは富士山関連の Q & A にまいりましょう。



**Q1. How long does it take to climb to the top of Mt. Fuji? Can I climb up to the top and back to the 5th stage in one day?**

(富士山頂上まで登るのにどのくらい時間がかかりますか？ 一日で5合目から往復できますか？)

Depending on your physical strength, it takes 4-7 hours to climb from the 5th stage to the top, and 2-4 hours to climb down. So you can go up and down in a day if you're strong enough. But you're likely to suffer from altitude sickness. So you should stay more than one hour at the 5th stage before you start climbing and stay the night at the 8th stage to get used to the thin air.

(体力によりますが、5合目から登山に4～7時間、下山に2～4時間かかります。ですから体力がある方は日帰り登山が可能です。しかし、高山病にかかりやすいので、すぐ登らず1時間以上は5合目にいて、8合目では一泊して、体を高度に慣らすようにしましょう。)

**ここを押さえて！**

富士宮口五合目は頂上までの歩行距離が一番短く、往復の標準タイムは5合目での待機時間を含めて8～9時間です。関連でよく聞かれる質問として、高山病の心配があげられます。



**Q2. I heard that Mt. Fuji is a volcano. Hasn't it erupted recently?**

(富士山は火山だと聞いていますが、最近は何も噴火していませんか？)

Mt. Fuji is an active volcano, but it hasn't erupted for 300 years. This is the longest intermission for this mountain, which erupted seven times during the 400 years of the Heian period. Nobody knows when it will erupt next time, since the workings of nature are beyond human knowledge.

(富士山は活火山ですが、ここ300年間は噴火していません。噴火を繰り返してきた富士山がこれほど長く休止したことはありません。平安時代の約400年間の間には7回も噴火しています。自然の営みは人知を超えていますので、富士山が次にいつ噴火するかは誰にもわかりません。)

**ここを押さえて！**

**active volcano (活火山)** は必須表現。「～時代」は the Heian period のように必ず **the** が必要です。

### Q3. What are other scenic sightseeing spots around Mt. Fuji?

(富士山近辺のお勧めの観光地はどこですか?)

There are five lakes, called “Fuji Goko” around Mt. Fuji, including Lake Yamanaka and Lake Kawaguchi. Sophisticated small museums and beautiful villas are located near the area. You can enjoy fishing and camping there, while enjoying magnificent views of Mt. Fuji. Another tourist attraction near Mt. Fuji is Fuji Safari Park, where you can enjoy watching various kinds of animals.

(富士山の周りには、山中湖、河口湖などの「富士五湖」と呼ばれる5つの湖があります。この地域には、洗練された小さな博物館や美しい邸宅があります。富士山の壮大な景色を眺めながら、湖で釣りやキャンプを楽しむことができます。また富士山の近郊には富士サファリパークもあり、いろいろな動物を観察することができます。)

### Q4. Why do Japanese people worship mountains?

(なぜ日本人は山を崇拝するのですか?)

Japanese people worship sacred mountains with fear and respect, based on the *Shinto* belief that spirits live in waterfalls, rocks, mountains and trees. The Japanese owe nature's blessings mostly to divine mountains. Mt. Fuji, with a shrine on its peak, is a representative example of awe-inspiring sacred mountains.

(日本人は、滝、岩、山、木などに霊が宿るとする神道の信仰に基づいて、畏敬の念を抱いて霊山を崇拝しています。日本人は自然の恵みを神聖な山の恩恵だと考えています。富士山は畏怖を抱かせる霊峰の代表的な例で、頂上には社があります。)

#### ここを押さえて!

この問題文は日英通訳問題としても出題が予想されます。日英トレーニングもしておきましょう。based onのパターンと、owe A to B (AについてBの恩恵を受けている)を使っています。I *owe* my victory *to* luck. なら「勝てたのは運がよかったから」。この他、representative example (代表例)、divine (神聖な)、awe-inspiring (畏怖を抱かせる)も覚えておきましょう。それから、owe[óu]とawe[ɔ:]は発音が違うので要注意!

いかがでしたか? 今度は日英通訳力UPトレーニングです。次の和文の英訳にチャレンジしてみてください。

## 日英通訳力 UP トレーニング ① 【日本の地形】

日本は、陸地面積が378,000平方キロで、南北3,000キロに弓なりに伸びる列島です。日本は北海道、本州、四国、九州の四つの主要な島と6,000以上の小さな島から成り、土地の約70%は山地で、居住地は広くありません。

### 《英訳例》

Japan is an arc-shaped archipelago with a land area of about 378,000 square kilometers, stretching 3,000 kilometers from north to south. Japan consists of four main islands, Hokkaido, Honshu, Shikoku, and Kyushu, and more than 6,000 small islands. Since about 70% of the land is mountainous, Japan has a limited area for habitation.

### 《解説》

面積を説明するときは、**square kilometers** (平方キロメートル) のような表現を使う。**consist of** ～は「～から成る」。 **mountainous** (山がち、山が多い) は日本の地形を表現する際に必須。他に、**basin** (盆地), **plain** (平野), **peninsula** (半島), **gulf** (湾), **estuary** (河口) なども覚えておこう。**area for habitation** は「居住地」。

## 日英通訳力 UP トレーニング ② 【お花見】

多くの日本人は桜の花見をするのが好きで、美しさの盛りですぐに散ってしまう桜の花と儂<sup>はかな</sup>さを結び付けて考えがちです。ですから、気象庁は、お花見の準備に役立つ「桜前線」という、桜の開花時期と場所の予報を出しているのです。

### 《英訳例》

Many Japanese like cherry blossom-viewing in full bloom and tend to associate cherry blossoms with transience, which quickly fall at the zenith of their beauty. Therefore, the Japan Meteorological Agency issues “Cherry Blossom Front”, a forecast of cherry-blossom blooming dates and spots, which is helpful for cherry blossom-viewing parties.

### 《解説》

「花見（会）」は cherry blossom-viewing (party)。「A から B を連想する」は associate A with B を用いる。They often associate Japan with Mt. Fuji.「彼らは日本という、富士山を連想する」。transience は「一時的であること、儂<sup>はかな</sup>さ、無常」。「～の盛りに」は at the zenith of ～ で表現する。気象庁は the Japan Meteorological Agency で定訳のためこのまま覚えよう。

さて、初めてのプレゼンと日英通訳の練習はいかがでしたか？ このようにひな形を使ってトレーニングを進めていきます。ご自身で、または学習仲間と一緒に練習を重ねてみてください。楽しく勉強することも学習が続く秘訣です。

それでは次に、国内外の人気を集めている屋久島のプレゼンにチャレンジしてみましょう！



## プレゼンテーション・Q&A トレーニング②【屋久島】

### STEP 1 (キーワードでプレゼンできるようにトレーニング！)

#### キーワードはこれだ！

- 小さな<sup>さんがくとう</sup>山岳島       世界自然遺産       原生林の屋久杉  
 自然の驚異       もののけ姫

### STEP 2 (日英通訳できるようにトレーニング！)

- ① 屋久島は宮の浦岳<sup>みやのうらだけ</sup>を最高峰にもつ、山がちな小さな島です。  
② 屋久島は、ユネスコ世界自然遺産に指定されています。  
③ 屋久島は、自生している屋久杉の原生林で有名です。  
④ 本土から孤立し、地形が急こう配で降水量が多いため、屋久島は日本の自然の驚異の一つとして数えられてきました。  
⑤ 屋久島の原生林は、高い評価を受けている宮崎駿の大ヒット作『もののけ姫』の着想の源となったことで有名です。  
⑥ この壮大な美しさを誇る屋久島をぜひ訪れてください。

### STEP 3 (解答&解説)

MP3 CD  File# 010

- ① **Yakushima is a small mountainous island with its highest peak Miyanouradake**(, which is located about 60 km south of the southern tip of Kagoshima Prefecture).

【カテゴリ】を述べます。( )内の立地(「鹿児島県の南端の南約60キロに位置する」)が言えればベターです。

- ② **Yakushima is designated as a UNESCO's World Natural Heritage site.**

【ステータス】は「ユネスコ世界自然遺産 (a UNESCO's World Natural Heritage site)」です。登録年1993年と言える人は、過去形で was designated as a ~ in 1993 と述べましょう。

- ③ **Yakushima is famous for its pristine forests of Yakusugi, cedar trees native to Yakushima.**

【第1の特徴】として「屋久杉 (cedar trees native to Yakushima)」について述べます。

植田 一三 (Ichay Ueda)

英語の最高峰資格 7 冠突破 & 英語教育書ライター養成校  
アクエアリーズ学長。英語の百科事典を読破し、辞書数  
十冊を制覇し、洋画 100 本以上の全せりふをディクテー  
ションするという英悟の超人 (amortal philosophartist)。  
ノースウェスタン大学院コミュニケーション学部修了後、  
テキサス大学院博士課程に留学し、同大学で異文化間コミ  
ュニケーションを 1 年間指導。Let's enjoy the process!  
(陽は必ず昇る) をモットーに、33 年の指導歴において、  
英検 1 級合格者を 1800 人以上、資格 3 冠 (英検 1 級・  
通訳案内士・TOEIC 960 点) 突破者を 300 名以上、英米  
一流大学院奨学金付 (1000 万～3000 万円) 合格者を多  
数育てる。28 年の著述歴で出版した英語検定対策・英語  
学習図書 50 冊以上 (総計 150 万部突破 [海外翻訳含む])  
の内 10 冊以上はアジア数か国で翻訳されている。

上田 敏子 (うへだ・としこ)

アクエアリーズ通訳案内士・英検 1 級・工業英検 1 級講  
座講師。英検 1 級、通訳案内士、観光英検 1 級 (優秀賞)、  
TOEIC 満点、工業英検 1 級 (文科大臣賞)、国連英検特 A  
(優秀賞)、ミシガン英検 1 級、バーミンガム大学院修了  
(翻訳学優秀賞) 取得。また、村上春樹ツアーやカンボジア・  
平泉姉妹都市提携イベントの翻訳・通訳や、日本文化紹介  
放送番組 "Beautiful Japan" をプロデュースするなど異  
文化交流に造詣が深い。主な著書に『英語で説明する日本  
の文化・必須表現グループ 100・日本の観光名所 100 選』  
シリーズ (語研)、『英語で経済・政治・社会を討論する技  
術と表現』(ベレ出版)、『英検 2 級・準 1 級・1 級面接大  
特訓』シリーズ (Jリサーチ) などがある。

小室 葉子 (こむろ・ようこ)

アクエアリーズ通訳案内士 & ボランティアガイド養成講  
座、英検 1 級対策講座講師。知性と教養溢れる、日本文  
化に精通した海外経験豊富なコスモポリタンで、欧米諸国、  
ブラジル、ペルー、中国、ベトナム、タヒチ、ニューカレ  
ドニア、タイなどで国際親善や通訳・翻訳業務に携わる。  
京都市立芸術大学美術学部で日本画を学び、茶道・華道師  
範という日本文化に精通したアーティスト。慶應義塾大学  
経済学部を優等で卒業し、国際情勢にも明るいクロスカル  
チャルコミュニケーター。

© Ichizo Ueda; Toshiko Ueda; Yoko Komuro,  
2016, Printed in Japan

## 通訳案内士試験 「英語一次・二次」直前対策

2016 年 5 月 25 日 初版第 1 刷発行

編著 植田 一三  
著者 上田 敏子  
小室 葉子  
制作 ツディブックス株式会社  
発行者 田中 稔  
発行所 株式会社 語研  
〒101-0064  
東京都千代田区猿樂町 2-7-17  
電話 03-3291-3986  
ファクス 03-3291-6749  
振替口座 00140-9-66728  
組版 ツディブックス株式会社  
印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社

ISBN978-4-87615-311-4 C0080

書名 ツウヤクアンナイシシケン エイゴ イチジ ニジ  
チョクゼンタイサク  
編著 ウエダ イチソウ  
著者 ウエダ トシコ/コムロ ヨウコ  
著作権および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。  
乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研  
GOKEN

語研ホームページ <http://www.goken-net.co.jp/>